

4月の衛研検査情報

～トピックス～

平成26年度 医動物・種類同定検査のまとめ（10～3月）

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 平成26年10月から平成27年3月の種類同定検査件数は、7件でした。内訳は昆虫類2件（コウチュウ目1件、チョウ目1件）、その他の節足動物 3件（クモ綱3件）、その他2件（ハリガネムシ綱、植物種子）でした。

平成26年度 食品等の苦情品検査（1）

平成26年12月以降、食品への異物混入の報道が数多くあり、食の安全性についての関心が非常に高まっています。福祉保健センター等に届けられた食品等に関する苦情品の中で、原因究明のために食品添加物担当へ搬入された検体は、前年度の2倍以上に増加しました。

主な結果 依頼件数を内容別に分類すると、異物54件、異味異臭18件、有症3件、その他5件となり、異物が最も多く、特に学校給食での混入が異物全体の約6割を占めました。

残留農薬検査（平成26年度 その4）

微量汚染物担当では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。今回は、平成27年1月から3月までに搬入された農産物等の検査結果を報告します。

主な結果 市内産農産物8検体、国内産農産物11検体、輸入農産物5検体について検査をしたところ、5検体から農薬5項目が検出されましたが、いずれも基準値以下でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成27年3月は、インフルエンザ流行情報、クロストリジウム-ディフィシル感染症、B群レンサ球菌感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は104,224件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。